



平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月7日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ
 コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 宇治田 明史
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-945-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	44,305	6.2	7,647	15.7	8,081	17.4	5,892	26.4
28年5月期第3四半期	41,722	3.0	6,610	48.6	6,883	29.5	4,663	17.3

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 6,759百万円 (140.1%) 28年5月期第3四半期 2,815百万円 (65.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	130.94	
28年5月期第3四半期	103.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	116,999	94,503	80.6
28年5月期	108,859	88,886	81.5

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 94,356百万円 28年5月期 88,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期		10.00		15.00	25.00
29年5月期		10.00			
29年5月期(予想)				13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年5月期期末配当金の内訳 普通配当13円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,400	1.1	7,000	4.3	7,400	2.1	5,200	0.3	115.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期3Q	48,410,750 株	28年5月期	48,410,750 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年5月期3Q	3,408,911 株	28年5月期	3,407,881 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期3Q	45,002,447 株	28年5月期3Q	45,003,842 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関するレビュー手続きを実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際に業績は、今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成29年5月期 第3四半期	44,305	7,647	8,081	5,892	130.94
平成28年5月期 第3四半期	41,722	6,610	6,883	4,663	103.61
前年同期比	2,583	1,037	1,197	1,229	27.32
増減率	6.2%	15.7%	17.4%	26.4%	—

当第3四半期連結累計期間（平成28年6月1日から平成29年2月28日まで）における世界経済の状況をみると、米国は、新政権による政策運営の先行きに不透明感が残るものの、雇用回復を背景に住宅投資・個人消費が堅調に推移し、企業収益は緩やかな回復を維持しております。欧州経済は、英国のEU離脱選択による金融市場の一時的な混乱はありましたが、緩やかな回復が見られます。また、新興国経済は、インドでは引き続き内需を中心に伸長し、中国では景気対策の効果により景気減速は緩やかなものに留まっておりますが、ブラジルにおいては依然として景気低迷が続いております。

わが国経済は、個人消費は賃金上昇の伸びが将来の不安を払拭するほどには至らず、力強さに欠けておりますが、輸出や生産の拡大から企業の収益は緩やかに持ち直し始めており、景気は堅調に推移しつつあります。

当種苗業界は、依然として国内需要は頭打ちの状況が続いておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループの国内卸売事業は、野菜種子の売上が好調に推移した結果、前年同期比増収となりました。海外卸売事業につきましては、野菜種子売上が大幅に増加、花種子の売上也増加したことから大幅な前年同期比増収となりました。一方、小売事業は、不採算商品の削減に加え、天候不順により園芸関連の消費が冷え込み、前年同期比大幅減収となりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は443億5百万円（前年同期比25億83百万円、6.2%増）となりました。営業利益は、利益率の高い野菜種子の売上増加が売上総利益を押し上げた結果、76億47百万円（前年同期比10億37百万円、15.7%増）となりました。また経常利益は、受取配当金が増えたことなどから営業外収支が前年同期比改善し、80億81百万円（前年同期比11億97百万円、17.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益も、58億92百万円（前年同期比12億29百万円、26.4%増）と前年同期比増益となりました。

当期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替換算レートは、次のとおりです。なお、海外連結子会社等の決算日が連結決算日と異なるため、財務諸表項目（収益及び費用）を各四半期決算日末（3、6、9、12月末）の直物為替レートを適用し、その都度洗替を行っております。

	当第1四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
米ドル	102.96円 (122.48円)	101.12円 (119.97円)	116.53円 (120.54円)
ユーロ	114.36円 (137.20円)	113.29円 (134.94円)	122.73円 (131.67円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

①国内卸売事業

国内卸売事業は、花種子と資材の売上が減収となりましたが、野菜種子の売上が増加した結果、前年同期比増収となりました。野菜種子では、ブロッコリー、トウモロコシなどが、大幅に売上を伸ばしました。花種子は、市況、景気低迷による作付減が響き、微減となりました。資材は、農業用ハウス関連資材の需要停滞から動きが鈍く、また前期大幅に伸びたオリジナル培養土の反動減が響き、減収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比2億87百万円（同2.3%）増の125億77百万円となり、営業利益は前年同期比1億72百万円（同3.7%）増の48億82百万円となりました。

②海外卸売事業

それぞれの地域の状況をみますと、アジアでは、ブロッコリー、ホウレンソウ、トルコギキョウ、ヒマワリなどが大きく伸びたことから、前年同期比増収となりました。北米につきましては、ブロッコリー、トマト、カボチャ、ホウレンソウ、メロンなどの野菜種子が好調に推移したことから、前年同期比大幅増収となりました。欧州では、ブロッコリー、トマト、カボチャ、スイカ、トルコギキョウ、カンパニュラなどが伸び、前年同期比増収となりました。南米につきましては、為替が円安へ進行したことに加え、ブロッコリー、トマト、カボチャ、ペッパー、レタスなどの野菜種子が好調に推移したことから、前年同期比大幅増収となりました。

品目別では、野菜種子ではブロッコリー、トマト、カボチャ、ホウレンソウ、メロンなどが売上を大きく伸ばし、前年同期比増収となりました。花種子につきましても、トルコギキョウやヒマワリなどの売上が伸びたことなどから、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比27億84百万円(同11.9%)増の261億91百万円となり、営業利益は前年同期比6億38百万円(同8.2%)増の84億6百万円となり、増収増益となりました。

③小売事業

ホームガーデン分野は、天候不順の影響や資材の販売不振、また、前期から引き続き、不採算商品の削減を行っていることにより、売上高は前年同期比大幅減収となりました。一方、利益面では、業務コストを大幅に削減し、改善へと進んでおります。

通信販売分野では、サカタ友の会の新制度(Web会員制度)への移行が完了しました。印刷物として刊行していた紙媒体の「園芸通信」を電子媒体へ切り替えるなどにより経費を圧縮することができました。しかしながら、秋の長雨等の天候不順の影響もあり、苗・球根を中心に売上が伸びず、減収となっております。

ガーデンセンターでは、イベントとセール開催の頻度を増やしたことにより、種子と植物の売行きは好調でしたが、ノベルティ商品の販売不調が大きかったために減収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比5億3百万円(同9.2%)減の49億85百万円となりました。営業損益は、前年同期比で損失額を圧縮し、1億50百万円の損失(前年同期は4億36百万円の営業損失)となりました。

④その他事業

造園緑花分野は、大型民間工事の完工及び民間維持管理業務の増加により、前年同期比増収となりました。営業損益は、前年同期に計上した利益率の高い大型工事分が剥落した結果、前年同期比減益となりました。なお、今期は、同様の利益率の高い工事の完工を第4四半期に見込んでおります。

これらの結果、売上高は前年同期比14百万円(同2.7%)増の5億51百万円となり、営業損益は60百万円の損失(前年同期は24百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産(百万円)	108,859	116,999	8,139
純資産(百万円)	88,886	94,503	5,616
自己資本比率(%)	81.5%	80.6%	—
1株当たり純資産(円)	1,972.00	2,096.72	124.72
借入金の残高(百万円)	5,032	5,097	64

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ81億39百万円増加し、1,169億99百万円となりました。これは、現金及び預金が35億37百万円、たな卸資産が39億51百万円、その他流動資産が13億2百万円、有形・無形固定資産が5億20百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が10億96百万円、長期繰延税金資産が3億63百万円減少したことなどによるものです。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億23百万円増加し、224億96百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が14億52百万円、短期借入金が9億84百万円、未払法人税等が9億32百万円増加した一方で、長期借入金が9億19百万円減少したことなどによるものです。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ56億16百万円増加し、945億3百万円となりました。これは利益剰余金が47億67百万円、為替換算調整勘定が6億61百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高を除き、平成29年1月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を上回っております。しかしながら、為替レートが第3四半期連結対象期間以降円高に推移していること、今年度に予定している費用の予算消化が見込まれること、今後の状況変化の影響を受ける可能性があることなどから、現時点においては、通期の業績予想の修正はいたしませんでした。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,321	21,858
受取手形及び売掛金	14,488	13,391
有価証券	150	49
商品及び製品	23,237	26,466
仕掛品	2,020	2,036
原材料及び貯蔵品	2,142	2,264
未成工事支出金	135	719
繰延税金資産	2,412	2,504
その他	2,233	3,535
貸倒引当金	△276	△275
流動資産合計	64,864	72,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,638	29,182
減価償却累計額	△18,677	△19,251
建物及び構築物(純額)	9,961	9,931
機械装置及び運搬具	11,710	12,155
減価償却累計額	△9,221	△9,596
機械装置及び運搬具(純額)	2,489	2,559
土地	14,456	14,554
建設仮勘定	670	1,139
その他	3,223	3,407
減価償却累計額	△2,496	△2,659
その他(純額)	727	748
有形固定資産合計	28,305	28,932
無形固定資産		
638		531
投資その他の資産		
投資有価証券	13,633	13,854
長期貸付金	50	33
繰延税金資産	614	250
その他	859	947
貸倒引当金	△106	△103
投資その他の資産合計	15,052	14,982
固定資産合計	43,995	44,446
資産合計	108,859	116,999

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,305	4,758
短期借入金	2,676	3,660
未払法人税等	985	1,917
その他	4,002	4,272
流動負債合計	10,970	14,609
固定負債		
長期借入金	2,356	1,436
繰延税金負債	2,383	2,220
退職給付に係る負債	3,055	2,990
役員退職慰労引当金	345	377
その他	862	860
固定負債合計	9,002	7,886
負債合計	19,972	22,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,793	10,793
利益剰余金	66,980	71,747
自己株式	△4,477	△4,480
株主資本合計	86,796	91,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,234	5,374
為替換算調整勘定	△2,842	△2,181
退職給付に係る調整累計額	△443	△398
その他の包括利益累計額合計	1,949	2,794
非支配株主持分	141	147
純資産合計	88,886	94,503
負債純資産合計	108,859	116,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	41,722	44,305
売上原価	17,564	17,971
売上総利益	24,158	26,334
販売費及び一般管理費	17,547	18,687
営業利益	6,610	7,647
営業外収益		
受取利息	108	127
受取配当金	202	241
受取賃貸料	160	165
その他	132	163
営業外収益合計	603	697
営業外費用		
支払利息	60	81
為替差損	134	101
その他	134	79
営業外費用合計	330	263
経常利益	6,883	8,081
特別利益		
固定資産売却益	—	107
投資有価証券売却益	13	—
特別利益合計	13	107
特別損失		
減損損失	64	32
特別損失合計	64	32
税金等調整前四半期純利益	6,832	8,156
法人税等	2,155	2,247
四半期純利益	4,677	5,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,663	5,892

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	4,677	5,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△711	140
為替換算調整勘定	△1,138	665
退職給付に係る調整額	△11	44
その他の包括利益合計	△1,861	850
四半期包括利益	2,815	6,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,814	6,738
非支配株主に係る四半期包括利益	1	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年6月1日 至平成28年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,289	23,406	5,489	41,185	536	41,722	-	41,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	583	1,974	0	2,558	27	2,585	△2,585	-
計	12,873	25,381	5,489	43,743	564	44,308	△2,585	41,722
セグメント利益又は損失(△)	4,710	7,768	△436	12,042	△24	12,017	△5,407	6,610

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,407百万円には、セグメント間取引消去79百万円、棚卸資産の調整額△194百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,577	26,191	4,985	43,754	551	44,305	-	44,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	481	1,720	0	2,202	30	2,232	△2,232	-
計	13,058	27,912	4,986	45,956	581	46,538	△2,232	44,305
セグメント利益又は損失(△)	4,882	8,406	△150	13,138	△60	13,078	△5,430	7,647

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,430百万円には、セグメント間取引消去74百万円、棚卸資産の調整額△98百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,406百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。